

校務DX計画

令和5年9月に文部科学省にて実施された「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の自己点検結果等に基づき、以下のとおり校務DX化を推進し、校務の業務効率化を図ることにより教職員の負担軽減を実現する。

1 学校

(1) 教員と保護者間の連絡のデジタル化

- ・保護者連絡アプリの導入により、欠席連絡等のデジタル化と配布物の電子配信によりペーパーレス化を徹底する。

(2) 教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

- ・教員及び児童生徒がアカウントを保有する共通のクラウドツールを活用し、児童生徒への連絡やアンケートのデジタル化を推進する。

(3) 学校内の連絡のデジタル化

- ・勤怠管理機能を有する統合型校務支援システムの導入により、休暇申請、出張申請等の各種事務手続きのデジタル化を徹底する。

(4) その他

- ・教育委員会とのFAXでのやり取りを原則廃止する。
- ・不必要な押印、署名を廃止する。

2 学校設置者

(1) 教育委員会所管の業務のデジタル化

- ・指導主事及び教員がアカウントを保有する共通のクラウドツールを活用し、教員への連絡やアンケート、相互の情報共有のデジタル化を推進する。

(2) 次世代の校務デジタル化に向けた環境整備

- ・パブリッククラウド上で運用する統合型校務支援システムを導入し、校務における働き方改革と業務の効率化を推進する。

(3) その他

- ・指導要録、出席簿、健康診断票等の各種公文書のデジタル化を推進する。